

【 4 款 衛生費 】

1 保健衛生費

少子化、核家族化に伴い、子育てに不安を持つ親への支援、乳幼児の健康診査への受診勧奨や指導を行った。
また、昨今の高齢化社会において、「自分の健康は、自分でつくるもの」を目標に、健康保持増進のための各種健(検)診、健康教室、感染症予防対策等の事業を行った。

(1) 保健衛生総務費

核家族化が進行し、身近に助言者がいないなど、育児不安をもつ親が増えている中、安心して笑顔で子育てができるまちづくりを目指し、育児について様々な相談ができる場を提供するとともに、異常の早期発見のための健康診査の実施、保健指導、医療への受診勧奨等の措置を講じた。

また、休日等における救急医療対策として、平戸市医師会へ委託し、在宅当番医制による初期救急医療体制の確保を行うとともに、休日・夜間等の重症救急患者の医療確保のため、3市1町(佐世保市、松浦市、平戸市、佐々町)で構成する佐世保県北医療圏における病院群輪番制病院運営事業により、二次救急医療体制の確保を行った。

(2) 予防費

感染症の発症やまん延予防を目的に、市民への衛生思想の啓発活動、予防接種法に基づいた定期予防接種及び、子どものインフルエンザの予防接種事業を実施した。また、子宮頸がんの発症や、髄膜炎の重症化予防を目的とした任意の予防接種である子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用について助成を行った。

(3) 健康増進費

市民の健康寿命の延伸や介護予防を目的とし、健康増進法に基づいた健康教育、健康相談、各種健(検)診、訪問指導を実施した。

(4) 環境衛生費

ごみの散乱防止のためのパトロールや回収を行い、環境保全に努めた。花とみどりのふるさとづくり推進のため、フラワー街道やプランター植栽による緑化事業並びに公共施設等に花いっぱい運動用の花苗の配布を行った。

また、自然エネルギーの利用を促進することで地球温暖化防止及び、新エネルギーの導入を推進するため住宅用太陽光発電システムの設置に係る費用の一部助成を行った。

松浦地区火葬場組合においては、平成25年3月末をもって解散がなされ4月から利用者(田平地区)においては一部助成を行い支援を行う。

(5) 公害対策費

公害防止の観点から公共用水域の水質測定を行い水質汚濁防止に努めた。また、騒音防止対策として、県からの権限委譲に基づく主要道路の自動車騒音状況を測定し、環境騒音の監視を行った。

(6) 飲料水供給施設管理費

離島である高島地区における、飲料水供給施設の維持管理を行い安全な飲料水の安定供給を図った。

2 清掃費

(1) 清掃総務費

一般廃棄物の中間処理は、北松北部クリーンセンターにおいて適正な処理を行い、清潔で住みよい生活環境の保全が図られた。また、平戸市総合衛生センター最終処分場は、監視委員会の活動を踏まえた適切な管理により、地域住民の安心と信頼を維持できた。

(2) 塵芥処理費

一般廃棄物処理計画に基づき、適切なおみ・し尿の収集運搬を行った。また、再資源物の回収に対する助成を行い廃棄物の減量化対策を実施した。廃棄物及び資源物の円滑な処理体制を図るため、平戸市総合衛生センター解体跡地にストックヤード施設を整備し海岸漂着物対策等の推進に努めた。

また、既に廃止している生月・田平地区の廃棄物処理施設について、ダイオキシン類曝露防止による解体工事をを行い、地域の環境の保全が図られた。

(3) し尿処理費

公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全のため、浄化槽設置整備事業の推進を図り、個人住宅の改築に併せて浄化槽を設置する場合に限り市単独で20万円の上乗せ補助を実施することで普及促進に努めた。

田平地区コミュニティ・プラントによる汚水処理や大島地区のし尿処理について、適正な処理の実施により、清潔で住みよい生活環境の保全が図られた。

事業名	事業内容	事業費
妊産婦健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 170 頁】	<p>妊娠中からの健康管理を目的として、すべての妊婦を対象に妊婦健康診査費用の一部を助成した。</p> <p>また、聴覚異常を早期に発見することを目的として、新生児聴覚検査費用の一部を助成した。</p> <p>母子健康手帳交付者数：239 人 妊婦健診受診者数：延べ2,826 人 新生児聴覚検査受診者数：213 人(受診率 89.9%)</p>	21,825
子育て支援交付金事業 (保健センター) 【事項別明細書 170 頁】	<p>○ 生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を対象に、「こんにちは赤ちゃん事業」を実施し、妊産婦の健康管理と育児不安の軽減、新生児の成長発達確認、家庭内の育児環境や協力体制等について指導、助言を実施した。その後、継続的な支援が必要な家庭を対象に「養育支援家庭訪問事業」を実施した。</p> <p>○ 母子保健推進員(22人)による妊産婦の相談、健診勧奨などの地域支援活動や、育児支援事業としてお遊び教室を実施した。 また、母子保健推進員を対象に、研修会を開催し、推進員同士での交流、知識の伝達に努めた。</p> <p>○ 児童虐待ゼロプロジェクト事業として、妊娠中からの精神的安定を図る目的で医療機関において、妊婦にアンケート調査を行い、支援が必要な対象者については訪問活動を実施した。</p> <p>○ 障害等の早期発見、適切な援助、成長発達の評価、育児支援等、乳児の健康の保持増進を図るため、乳児相談・健診時の絵本の読み聞かせや離乳食教室(指導)を実施した。</p> <p>こんにちは赤ちゃん事業 対象者数：247 人 訪 問 数：239 人 養育支援家庭訪問事業 訪問件数(実)：32 件 (延べ)：57 件 母子保健推進員研修会 実施回数：2 回 参加者延べ数：31 人 お遊び教室 実施回数：6 回 参加者延べ数：31 人 児童虐待ゼロプロジェクト事業 医療機関からの情報提供数：123 件 うち訪問が必要と連絡のあった人数：18 件 うち訪問者数：18 件 乳児健診 実施回数：30 回 対象者数：237 人 対象者延べ数：690 人 受診児延べ数：680 人(受診率：98.6%) 母子健康相談 実施回数：40 回 参加者延べ数：329 人</p>	3,618

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
7,134	12,500		2,191	<p>妊婦健康診査の費用を助成したことにより、妊婦の経済的負担を軽減するとともに、妊娠週数に応じた健康管理ができた。</p> <p>また、新生児の聴覚検査費用を助成することで、異常の早期発見ができた。</p>
993			2,625	<p>家庭を訪問することで、妊産婦の健康管理や育児に対する不安の軽減を行った。また、妊娠初期から産後まで産科医療機関と情報を共有し、連携により支援を行うことで児童虐待の未然防止に努め、子育て不安の軽減を図り母親の精神的安定に寄与した。</p>

事業名	事業内容	事業費
幼児健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 170頁】	健康・発達の評価、障害・疾病等の早期発見などの個々に応じた指導助言を行った。 1歳6か月児健康診査 実施回数：18回 対象者数：215人 受診者数：212人(受診率：98.6%) 3歳児健康診査 実施回数：19回 対象者数：264人 受診者数：258人(受診率：97.7%) フッ素塗布事業 むし歯予防のため、1歳6か月児から3歳児までに対し、フッ素塗布事業を行った。塗布回数は全5回で、初回と最終回は1歳6か月・3歳児健診とあわせて実施し、2回目から4回目までは、受診者の日程にあわせ歯科医院を受診しフッ素を塗ることができるようにしている。 対象者 1,256人 フッ素塗布 598人(塗布率47.6%)	1,738
地域医療人材育成事業 (保健センター) 【事項別明細書 172頁】	平戸市民病院を教育の拠点とし、長崎大学に委託して地域医療に貢献できる医師の養成を行った。また、市民を対象とした地域医療に関する講演会の開催及び、へき地医療体験合宿等を通じて、過疎・へき地の医療を担う人材を育成した。 研修医受入数：25人	21,068
妊婦相談事業 (保健センター) 【事項別明細書 172頁】	安心して子どもを産み・育てる環境を整えるために妊婦の相談、妊産婦同士の交流の場として平戸市内助産師有志の会“平戸さんばの会”へ委託し“Sun・MaMaひろば”を開催した。 Sun・MaMaひろばの開催 回数：13回 参加者：妊産婦36人、配偶者10人	165
子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金事業 (保健センター) 【事項別明細書 174頁】	予防接種法に基づかない任意の予防接種で、子宮頸がんの発生を予防するワクチン、乳幼児が細菌性髄膜炎などの病気になることを予防するヒブワクチン及び、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用の全額を助成した。 予防接種者延べ数(接種率) 子宮頸がん 468人(18.6%) ヒブ 931人(53.5%) 小児用肺炎球菌 997人(50.4%)	23,510

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		79	1,659	健康診査は、受診率100%を目指して受診勧奨を実施しており、高い受診率を維持することができ、幼児の健康管理に寄与した。 また、幼児期における口腔環境は、成長発達に影響を与える一因であり、むし歯予防は重要であることから、歯の生え始める時期からむし歯予防の実践を啓発しているが、特に1歳6か月児健診以降にむし歯が増えていくため、この時期からフッ素を塗布することでむし歯の予防が可能となった。
1,000	19,800		268	長崎大学への委託により、地域医療の人材育成を図るとともに、平戸市民病院における医師を確保できた。
			165	妊婦を対象とした助産師による相談の場、妊産婦同士の交流の場として“Sun・MaMaひろば”を開設し、妊産婦の不安が軽減された。
11,755			11,755	ワクチン接種により、疾病の発症及び重症化を防ぐことができた。

事業名	事業内容	事業費																				
予防接種事業 (保健センター) 【事項別明細書 174 頁】	<p>予防接種法で定められた定期予防接種については、複数回にわたる個人通知を行うなど接種率向上に努め、前年度で終了できなかった接種者には、引き続き接種勧奨の働きかけを行った。</p> <p>他に、生後6か月から就学前までの子どもを対象に、インフルエンザ予防接種費用を助成した。</p> <p>また、法令改正に伴い、平成24年9月から不活化ポリオワクチン、11月から四種混合ワクチンの接種事業を実施した。</p> <p>予防接種者延べ数(接種率)</p> <table border="0"> <tr> <td>生ポリオ(急性灰白髄炎)</td> <td>202人(43.0%)</td> </tr> <tr> <td>不活化ポリオ(急性灰白髄炎)</td> <td>556人(78.9%)</td> </tr> <tr> <td>三種混合</td> <td>751人(79.9%)</td> </tr> <tr> <td>四種混合</td> <td>248人(35.2%)</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ(高齢者)</td> <td>6,653人(44.1%)</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ(子ども)</td> <td>1,485人(62.3%)</td> </tr> <tr> <td>ジフテリア・破傷風混合</td> <td>300人(95.5%)</td> </tr> <tr> <td>BCG</td> <td>232人(94.7%)</td> </tr> <tr> <td>麻疹風しん混合</td> <td>1,055人(93.4%)</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td>1,186人</td> </tr> </table> <p>※日本脳炎については、23年度途中に対象者の年齢が拡大されたため、接種率は計上していない。</p>	生ポリオ(急性灰白髄炎)	202人(43.0%)	不活化ポリオ(急性灰白髄炎)	556人(78.9%)	三種混合	751人(79.9%)	四種混合	248人(35.2%)	インフルエンザ(高齢者)	6,653人(44.1%)	インフルエンザ(子ども)	1,485人(62.3%)	ジフテリア・破傷風混合	300人(95.5%)	BCG	232人(94.7%)	麻疹風しん混合	1,055人(93.4%)	日本脳炎	1,186人	50,344
生ポリオ(急性灰白髄炎)	202人(43.0%)																					
不活化ポリオ(急性灰白髄炎)	556人(78.9%)																					
三種混合	751人(79.9%)																					
四種混合	248人(35.2%)																					
インフルエンザ(高齢者)	6,653人(44.1%)																					
インフルエンザ(子ども)	1,485人(62.3%)																					
ジフテリア・破傷風混合	300人(95.5%)																					
BCG	232人(94.7%)																					
麻疹風しん混合	1,055人(93.4%)																					
日本脳炎	1,186人																					
いきいき平戸21 計画策定事業 (保健センター) 【事項別明細書 174 頁】	<p>21世紀における国民の健康づくり運動「健康日本21」に基づき、平戸市健康づくり計画として策定した「いきいき平戸21(第1次)」が平成24年度で終了することから、これまでの取り組みの評価及び新たな健康課題を踏まえ、平成25年度から平成34年度までの10年間の第2次計画を策定した。</p>	409																				
健康教育事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	<p>健康づくりの中でも、生活習慣病予防に重点を置き、市民1人ひとりが自分自身の生活習慣を見直す機会として、個人や各種団体などに対し、集団健康教育を行い健診受診率向上に努めた。</p> <p>実施回数：92回 参加者延べ数：2,190人</p>	758																				

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			50,344	各種予防接種により、感染症などの疾病予防が図られた。
			409	健康寿命の延伸と健康格差の縮小をはじめとした各種取り組みについて目標値を設定したことで、市民の健康増進に取り組む方針を示すことができた。
504			254	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に対する関心を高めるとともに、生活習慣病予防についての認識を深めることができた。

事業名	事業内容	事業費																								
健康相談事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	健康教育実施時や健診時等に併せて、健康相談を実施した。 実施回数：112 回 参加者延べ数：4,308 人	257																								
健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	健康増進法により肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症検診、歯周疾患検診等を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> </tr> <tr> <th>受診者数 (人)</th> <th>受診率 (%)</th> <th>受診者数 (人)</th> <th>受診率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肝炎ウイルス</td> <td>85</td> <td>—</td> <td>178</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>骨粗鬆症</td> <td>393</td> <td>23.0</td> <td>184</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患</td> <td>84</td> <td>4.2</td> <td>44</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	平成23年度		平成24年度		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	肝炎ウイルス	85	—	178	—	骨粗鬆症	393	23.0	184	10.7	歯周疾患	84	4.2	44	1.3	1,808
種 類	平成23年度		平成24年度																							
	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)																						
肝炎ウイルス	85	—	178	—																						
骨粗鬆症	393	23.0	184	10.7																						
歯周疾患	84	4.2	44	1.3																						
訪問指導事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	特定健診・がん健診の要精密者等に訪問し、指導及び助言を行った。 訪問者延べ数：181 人	53																								
後期高齢者健康 診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	長崎県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、後期高齢者医療の被保険者を対象に健康診査を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診者数 (人)</td> <td>778</td> <td>793</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>11.4</td> <td>11.5</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	平成23年度	平成24年度	受診者数 (人)	778	793	受診率 (%)	11.4	11.5	5,981															
区 分	平成23年度	平成24年度																								
受診者数 (人)	778	793																								
受診率 (%)	11.4	11.5																								
食育推進事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	市民 1 人ひとりが、命の源である「食」について認識を高め、生涯にわたって健やかで心豊かな生活を送るため、減塩減糖などによる生活習慣病予防・地産池消の促進・郷土料理の伝承・食への感謝の念を育てる「食育」を家庭や学校・保育所・生産者等の「食」に関わる多様な関係者が地域において一層の連携を深めながら、市民運動として推進した。 食育研修会 1 回開催 参加者： 24 人 食育推進リーダー学習会 29 回開催 参加者延べ数： 384 人 地域普及活動 93 回実施 参加者延べ数：4,066 人	1,103																								

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
164			93	生活習慣改善に結びつくような心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に寄与することができた。
795			1,013	各種健(検)診を実施することで、疾病予防及び重症化を防ぐことができた。
34			19	生活習慣改善の支援のため戸別訪問を行い、生活習慣病の発症及び重症化予防を図ることができた。また、がん検診要精密者に対し個別訪問を行うことで、早期受診につなげることができた。
		5,981		後期高齢者医療の被保険者に対する健診を実施することで、疾病予防・重症化予防に寄与することができた。
550			553	教育・農林水産・保健衛生・地域関係者等の「食育」に関わる分野の連携が図られ、「食育」が推進された。

事業名	事業内容	事業費
がん検診事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	がん対策基本法により、大腸がん・胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診を行った。また、特定健診受診者を対象に前立腺がん検診を実施するとともに、今年度から胃がん検診の検査方法に胃がんリスク検診を追加して実施した。	22,334
がん検診推進事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	子宮がん、乳がん、大腸がん検診について、一定の節目年齢の人へ検診手帳と検診費用が無料になるがん検診無料クーポン券を送付し、受診の促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康知識の普及啓発を行った。 対象年齢 子宮がん 21・26・31・36・41 歳 乳がん・大腸がん 41・46・51・56・61 歳	3,174
太陽光発電システム設置促進事業 (政策推進課) 【事項別明細書 178 頁】	自然エネルギーの利用を促進するため、住宅用太陽光発電システムの設置に係る費用の一部助成を行った。 助成件数 50 件 助成単価 60,000 円/件	3,000
花とみどりのふるさとづくり事業 (市民課) 【事項別明細書 178 頁】	市民の美化意識の向上のため、市街地を中心とした大型プランターに四季の花苗、国道 383 号線沿い一部区間に菜の花を植栽した。 フラワー街道事業 プランター植栽事業 花いっぱい運動用苗配布事業	3,258
海岸漂着物地域対策推進事業 (市民課) 【事項別明細書 186 頁】	市管理海岸において、漁業被害や海岸の景観を損ねている外国などからの漂着ごみ等を適正に処理し、海岸景観の保全を図った。	3,042

財 源 内 訳				事業の成果																																																											
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
			22,334	<p>各種がん検診における受診率向上を目指し、受診しやすい検診体制づくりに努め、がんの早期発見、早期治療に寄与することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">種 類</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">大腸がん</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>2,087</td> <td>2,188</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>293</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>14.4</td> <td>14.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">胃がん</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>1,408</td> <td>1,574</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>9.7</td> <td>10.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(うち胃がんリスク)</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>—</td> <td>(98)</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>—</td> <td>(2.5)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">肺がん</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>2,422</td> <td>2,557</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>16.7</td> <td>16.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">乳がん</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>1,215</td> <td>718</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>236</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>27.1</td> <td>21.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">子宮がん</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>1,097</td> <td>602</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>75</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">前立腺がん</td> <td>受診者数 (人)</td> <td>421</td> <td>434</td> </tr> <tr> <td>受診率 (%)</td> <td>3.9</td> <td>4.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※前立腺がん検診は、特定健診及び健康診査受診者の内数。 ※大腸がん、乳がん及び子宮がん検診については、がん検診推進事業での受診者を含む。</p>	種 類		23年度	24年度	大腸がん	受診者数 (人)	2,087	2,188	うちクーポン	293	199	受診率 (%)	14.4	14.4	胃がん	受診者数 (人)	1,408	1,574	受診率 (%)	9.7	10.3	(うち胃がんリスク)	受診者数 (人)	—	(98)	受診率 (%)	—	(2.5)	肺がん	受診者数 (人)	2,422	2,557	受診率 (%)	16.7	16.8	乳がん	受診者数 (人)	1,215	718	うちクーポン	236	146	受診率 (%)	27.1	21.1	子宮がん	受診者数 (人)	1,097	602	うちクーポン	75	58	前立腺がん	受診者数 (人)	421	434	受診率 (%)	3.9	4.1
種 類		23年度	24年度																																																												
大腸がん	受診者数 (人)	2,087	2,188																																																												
	うちクーポン	293	199																																																												
	受診率 (%)	14.4	14.4																																																												
胃がん	受診者数 (人)	1,408	1,574																																																												
	受診率 (%)	9.7	10.3																																																												
(うち胃がんリスク)	受診者数 (人)	—	(98)																																																												
	受診率 (%)	—	(2.5)																																																												
肺がん	受診者数 (人)	2,422	2,557																																																												
	受診率 (%)	16.7	16.8																																																												
乳がん	受診者数 (人)	1,215	718																																																												
	うちクーポン	236	146																																																												
	受診率 (%)	27.1	21.1																																																												
子宮がん	受診者数 (人)	1,097	602																																																												
	うちクーポン	75	58																																																												
前立腺がん	受診者数 (人)	421	434																																																												
	受診率 (%)	3.9	4.1																																																												
1,539			1,635																																																												
			3,000	<p>地球温暖化、自然エネルギーへの関心が深まる中、家庭の省エネ対策としての太陽光発電システム設置の普及促進を図るとともに、設置に係る費用負担を軽減することで、電力消費量の軽減が図られ、低炭素社会の推進に寄与することができた。</p>																																																											
			3,258	<p>「花いっぱい運動」の一環として実施したプランター植栽事業などにより、市民の緑化思想の普及ができた。公共施設や街路などに花木の植栽が行われ、市民の美化意識の向上と、ふるさとへの愛着を深めることができた。</p>																																																											
1,500			1,542	<p>漂流漂着ごみを回収し、適正処分することにより海岸景観の保全を行った。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>回収ポリ容器</td> <td>215 個</td> </tr> <tr> <td>クリーンセンター搬入量</td> <td>27,700kg</td> </tr> <tr> <td>処理困難物 (発泡スチロール等)</td> <td>165 m³</td> </tr> </tbody> </table>	回収ポリ容器	215 個	クリーンセンター搬入量	27,700kg	処理困難物 (発泡スチロール等)	165 m ³																																																					
回収ポリ容器	215 個																																																														
クリーンセンター搬入量	27,700kg																																																														
処理困難物 (発泡スチロール等)	165 m ³																																																														

事業名	事業内容	事業費
ごみ減量化推進事業 (市民課) 【事項別明細書 188 頁】	各種団体による資源物の集団回収に対し交付金を交付し、ごみの減量化を図った。 再資源化推進登録団体数 216団体	5,908
ストックヤード整備事業 (市民課) 【事項別明細書 188 頁】	平成16年4月より、一般廃棄物（ごみ）処理広域化による北松北部クリーンセンターの稼動に伴い、既に廃止している生月・田平地区の焼却施設について、ダイオキシン曝露防止対策を講じ解体工事を実施した。 また、平戸市総合衛生センター解体跡地は、漂着ごみ等の一時保管施設としてストックヤード施設整備を行った。 【解体工事】生月町志保良塵芥焼却場 10t/日 生月町志保良塵芥焼却場解体工事 地下1階地上3階建 509.56㎡ 煙突30m 【解体工事】田平町ごみ処理施設 6t/日 田平町ごみ処理施設解体工事 地下1階地上2階建 256.85㎡ 煙突30m 【建築工事】平戸市総合衛生センター 平戸ストックヤード建築工事 鉄骨・スレート葺 平屋建 126㎡	201,462
浄化槽設置整備事業 (市民課) 【事項別明細書 190 頁】	生活雑排水の適正な処理を目的に、浄化槽設置者への補助を実施した。	54,517
し尿処理施設解体事業 (市民課) 【事項別明細書 190 頁】	平成17年4月から、一般廃棄物（し尿）処理広域化による北松北部クリーンセンター稼動に伴い、既に廃止しているし尿処理施設において解体実施計画の基本設計を行った。 生月町し尿処理施設 15k1/日	6,901

財 源 内 訳				事業の成果																											
国県支出金	地方債	その他	一般財源																												
			5,908	各団体における再資源化物の回収の推進を図り、市民の分別リサイクル意識の啓発に伴うごみの減量化を行った。 再資源化推進交付金 平成23年度 平成24年度 古紙類 766,588kg 717,934kg リターナブルビン 182,637本 173,205本																											
72,911	126,700		1,851	ダイオキシン類曝露防止対策等により周辺環境へ影響も無く生月・田平地区の施設解体撤去を実施し、ストックヤード建設予定地が確保できた。また、平戸ストックヤード施設整備により漂着ごみ等の処理体制が構築された。																											
26,801			27,716	浄化槽設置により、水質汚濁の主因とされる生活雑排水の浄化を図り、公共用水域の環境保全に貢献した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>本 土</th> <th>離 島</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5人槽</td> <td>29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6～7人槽</td> <td>52</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>8～10人槽</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11～20人槽</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>21～30人槽</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>31～50人槽</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>99</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>市単独補助</td> <td>39</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	本 土	離 島	5人槽	29		6～7人槽	52	1	8～10人槽	5		11～20人槽	4		21～30人槽	5		31～50人槽	4		計	99	1	市単独補助	39	1
種 類	本 土	離 島																													
5人槽	29																														
6～7人槽	52	1																													
8～10人槽	5																														
11～20人槽	4																														
21～30人槽	5																														
31～50人槽	4																														
計	99	1																													
市単独補助	39	1																													
			6,901	生月町し尿処理施設の汚泥焼却設備については、ダイオキシン類の曝露防止対策による解体工事を要することから、周辺環境への影響を防止する安全な解体工事の実施に向けて事業進捗が図られた。																											